

KANTO

参加無料

オンライン開催

参加企業募集

兼業・副業マッチングフェア

専門知識や経験を持った兼業・副業人材とのオンラインマッチングイベント

日時

12.17(水)・18(木)
18:00~20:00

対象

広域関東圏1都10県の
中小企業・小規模事業者

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、
神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県

会場

オンライン開催

人材不足により取り組めていない業務改善、DX推進、
人材育成、新規事業の立上げ、販路拡大などの課題
をお持ちの企業様におすすめです。



内容

事前
配信

兼業・副業人材への貴社PR

「広域関東JOBフィールド」内に開設するイ
ベント特設ページで、マッチングイベント参加
希望者向けに貴社の募集情報を発信します。

当日

兼業・副業人材との交流会

貴社の募集内容に関心を持つ兼業・副業人材
に向けて、オンラインで詳細のご案内をして
いただけるほか、参加者と交流を行うことが
できます。

兼業・副業人材とは

兼業・副業人材とは、特定組織に専従せず、自身の専門知識や経験・スキル等を提供して対価を得ようとする人材のことです。組織に所属せず独立した形態で活動している人もいれば、企業や団体に所属しながら並行して活動している人もいます。一例として、フリーランス、大企業人材、企業OB人材が挙げられます。

企業の経営課題の裏には人材課題が潜んでいることがあります。フルタイムでの人材確保が難しい環境下で、兼業・副業人材を活用することで経営課題を解決できる可能性があります。

兼業・副業人材の活用メリットや活用事例は裏面をご覧ください

新規事業を進める人材がいない…
フルタイムでの人材確保が難しい…

その課題、以前取り組んだことがありますよ！

企業をサポートすることで自分も成長したい。



マッチングイベント

専門知識や経験・スキルを持った兼業・副業人材と企業とのオンラインマッチングイベントを開催します。

兼業・副業人材とのマッチングを希望する企業が自社のPRや経営課題を特設サイトに掲載し、課題解決のためのスキル・経験を有する兼業・副業人材とのマッチングを図ります。

※マッチングイベントには、関東経済産業局に登録された企業OB人材（マネジメントメンター）にも参加を呼びかける予定です。

マネジメントメンターとは

豊富な実務経験・専門知識・築いてきた人的ネットワークなどを活かして、高度・専門的な経営課題を抱える中小企業を支援するため、関東経済産業局マネジメントメンターデータベースにご登録いただいた方々を指します。

関東経済産業局：「マネジメントメンター登録制度／新現役交流会」の御案内について

お申込みは
こちら

「広域関東JOBフィールド」企業向けイベントよりお申込みください。

<https://kanto-shigoto.meti.go.jp/events/1217-forcompany>



主催

経済産業省
関東経済産業局

運営
お問合せ

地域中小企業人材確保事業運営事務局（株式会社学情）

TEL: 03-6775-4713

Email: info@kanto-shigoto.meti.go.jp bzl-kanto-jinzaimeti.go.jp

兼業・副業人材活用のススメ

兼業・副業人材活用のメリット

兼業・副業人材とは、特定組織に専従しない形で自身の専門知識や経験・スキル等を提供して対価を得る人のことです。組織に所属せず独立した形態で活動している人もいれば、企業や団体に所属しながら並行して活動している人もおり、関わり方も多様化しています。外部環境の変化やテレワークの普及に伴い、経験者の採用が難しい専門的なテーマに対して、兼業・副業人材を活用する企業が、地域を問わず増加しています。

国内の兼業・副業人材が増加中



雇用に限らない
自由な雇用形態

社内にないノウハウや
技術の獲得

資金と時間の節約

雇用や事業承継の
お試し期間

高い専門性や
豊富な経験を活用

必要な時に必要な分だけ
活用可能

社員の業務量・
負担の軽減

兼業・副業人材を活用できる テーマ・進め方

経営課題に合わせた広いテーマで活用できることが兼業・副業人材活用の特徴です。通常では経験者の採用が難しい専門的なテーマや最近では、DX推進やマーケティング活動など、企業の関心の高いテーマに対しても、兼業・副業人材が活用されています。テーマに合わせて、兼業・副業人材との関り方を工夫することで効率的、効果的な取り組みを期待することができます。



タスク型

期間(人日)、作業内容、納品物が明確

- (例)
- ・バナーやロゴをデザイン
 - ・データ入力や翻訳業務

プロジェクト型

期間(数か月～数年)、
業務範囲、成果物が明確

- (例)
- ・社内システムの導入・開発
 - ・新商品のマーケティング活動
 - ・顧客管理のDX化

ミッション型

期間や成果物は限定せず、
ミッションに基づき役割遂行

- (例)
- ・認知向上、ブランディング
 - ・人材開発(採用～育成)

兼業・副業人材の活用事例

CASE ①

製造業
経営戦略立案
組織活性化

2名の兼業・副業人材を採用。ビジョンに共感し、伴走しながらしっかりサポートしてくれた。

頭を抱えていた事業戦略立案

事業戦略の立案を進め、社員には相談がしづら、また費用面から外部の民間コンサルティング会社への依頼も難しい中、商工会議所への相談をきっかけに、兼業・副業人材の活用を視野に入れた。

社員を巻き込んだプロジェクト発足

2名の兼業・副業人材とマッチング。事業戦略の立案には社員も巻き込むべきというアドバイスにより、社員と一緒に考えるプロジェクトを発足。社長へのアドバイスではなく、コーチングを活用し、本音や思いを引き出すことに注力した。

120ページの事業戦略書の完成

兼業・副業人材を中心に進めたプロジェクトにより、社長の考えを引き出すことができたことに加え、社員の意見も取り入れたことで、納得できる事業戦略書が完成。事業の目的、会社経営の目的を深く考えることができた。

CASE ②

小売業
DX推進
顧客対応の効率化

課題やニーズの深堀からツールの導入まで、社員の共通認識を持てたことが成功要因。

人材不足で未着手だった経営課題

人材リソースが足りず未着手だった課題に対応するために兼業・副業人材活用を検討。顧客データの活用や、コールセンターの効率化、ITツールの活用を目指して、ICT導入支援実績のある兼業・副業人材を選定。

チャットボット導入プロジェクトを発足

兼業・副業人材に提案された「チャットボット」は社内では出てこなかったアイデア。導入プロジェクトを発足し、オペレーションやセキュリティ、プロモーションなど幅広くすり合わせし、包括的な課題解決に繋がるシステム構築を進めた。

業務効率化とDX推進のきっかけ

顧客対応の効率化ができるチャットボットの導入が実現。兼業・副業人材をPMとし、経験を活かした入念な準備により効率化を実現。社員間でDXに対する意識が高まり他の課題への応用を目指すきっかけに。

詳細・その他事例はこちら

『兼業・副業人材活用のススメ～多様な人材活用で経営力を高める～』

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/jinzai/data/220331_kenngyouhukugyou_zireisyu.pdf

主催



運営
お問合せ

地域中小企業人材確保事業運営事務局(株式会社学情)

TEL: 03-6775-4713

Email: info@kanto-shigoto.meti.go.jp bzl-kanto-jinzaimeti.go.jp